各班課題研究推進委員へ　総合理学・探究部へ18日までにSSDを提出
このエントリー表と論文フォームのファイルをコピーします。

SSH課題研究発表会エントリー票 ＆ SSH通信原稿の提出について

総合理学部

1. SSH 課題研究発表会のエントリー

発表会準備の都合上、正式なタイトル(記号やカッコ等を使われる場合も正確に)をご提出ください。
締め切りは１月２４日(月)です（その日までに確定できない場合は、その旨を事前にご連絡ください)。

●提出方法　SSDに電子ファイルがあります。記入の上、ファイル名を変えて保存し担当の先生に提出して下記の共有フォルダに保存してもらうようお願いしてください。

共有フォルダ ⇒ 2021年度 ⇒ 総合理学部 ⇒ ①基礎枠（校内の取組） ⇒ 02課題研究 ⇒ ２月課題研究発表会 ⇒ ③エントリー票提出先2021

タイトル	利用性が高い二酸化炭素を吸着する化学混合物の研究 ※スライド、論文、ポスターなどすべてのタイトルをこれに統一すること
メンバー氏名	2年9組　木村峻大　近藤子竜　土井晴陽　三宅純平　八木周
要望	口頭発表について（書画カメラの使用などその他） Power　Point使用　特になし ポスター展示について（電源使用、机など） 机　1台(ポスター貼り付け用のホワイトボード・マグネット)

２. SSH 通信用の原稿

内容の紹介	近年、地球温暖化などの社会問題を解決する溶媒として、２種類以上の化学物質の混合物(DES)が注目されている。本実験では、融点測定を行うことで新規の混合物(テトラブチルアンモニウムブロミドと尿素)の作製に成功した。そして、新規の混合物と既存の混合物を「基本的性質」や「毒性」、「常圧での二酸化炭素吸着量」の観点から比較評価した。比較評価のため、常圧での二酸化炭素吸着量を、質量変化や吸光度変化により定量化する実験系を確立した。新規の混合物は、毒性が低く、20μℓ程度の少量の水を加えると大幅に粘度が下がった。二酸化炭素吸着量は比較対象の混合物と差がなかったが、利用性は高くなった。

3. 生徒分担表　各班課題研究推進委員は班員に役割を１つずつ割り当てて下さい

・司会　各班課題研究推進委員（　三宅　）

・計時　（　近藤　）

・運搬［パネル、机など］（　土井　）（　木村　）

・共用備品運搬　（　八木　）

余れば運搬係に追加

班で使用するパネルや机などの係はその運搬後は共用備品の運搬に当たります。

※この調査票の提出締切　１月２４日(月)